

～ 実験概要 ～

今回の実験に当っては、「福岡マルチメディア放送推進協議会(仮称)」を設置し、様々な企業、研究機関、行政機関と共に本実験を運営することとしています。また、一般から実験参加者を募集し、登録された参加者に対してコンテンツを配信するクラウドな環境での実験となります。この実験で実証する項目は下記のとおりです。

記

通信放送レイヤー体系の地域放送への適用

広告目的に制作されたコンテンツの配信による広告効果の測定、有料放送目的に制作されたコンテンツの配信による視聴者ニーズと料金体系の妥当性について検証を行い、この結果をもとに、それぞれの収益モデルでの各レイヤー(ビジネス、ソフト事業、ハード事業)の最適な役割分担や事業モデルを構築する。

課金コンテンツのダウンロード配信の検証

実験試験局の電波で配信された、有料放送目的のコンテンツを端末にダウンロードした後、端末操作により、通信経由でコンテンツ利用料と引き換えに、鍵(ライセンス)を入手し視聴するモデルを検証する。

放送によるIP伝送 ～ IP over Digital Broadcasting ～

インターネット上のサービスやコンテンツを放送で活用するための連携技術を確立する。

災害時の防災緊急情報の提供

データ放送を活用した災害時の地域密着型緊急情報の提供の在り方を実証する。地方自治体と連携し、平常時は生活、観光、エンタテインメント情報等のコンテンツ配信、緊急時は行政から提供される被災情報を被災地域別にエリアコードをつけて提供する模擬実験を実施する。